DENON

DCD-F109
CDプレーヤー

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。
  出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承願います。詳しくは、「保証と修理について」（☞27 ページ）をご覧ください。

リモコンについて

本機にリモコンは付属していません。

本機とステレオレシーバー DRA-F109（別売り）を、本機に付属のシステムケーブルで接続（システム接続）することにより、DRA-F109 付属のリモコンで本機を操作することができます。

- **この取扱説明書には、DRA-F109 に付属のリモコンを使った操作方法も記載しています。**
- **リモコンについては、DRA-F109 の取扱説明書をご覧ください。**

ご使用になる前に

お買い上げいただきありがとうございます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

火気禁止

火や炎を近づけない

本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。
火災の原因となります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水滴や水しぶきのかかるところに置かない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災、感電の原因となります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

高温注意

使用中、使用直後に高温となる部分には触らない

使用中、使用直後は上面や高温注意マークの面には触れないでください。
機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。

禁止

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

禁止

必ずAC 100Vのコンセントに電源プラグを差し込んで使用する

本機は国内仕様です。AC 100V以外の電源には絶対に接続しないでください。
火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意
付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施
禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

すぐに電源コンセントからプラグを抜くことができるように設置する

電源のスイッチを切っても電源コンセントからは完全に遮断されていません。
万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜くことができるようにしてください。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施
禁止

電池を使用するときは

- 極性表示に注意し、表示のとおりに正しく入れる。
- 指定以外の電池は使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 電池は火のそばや直射日光のあたるところ、暖房器具などの高温の場所に置かないでください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときはお住まいの地域の条例に従って処理してください。

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

手の挟み込み注意
指のけがに注意

ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5 年に一度は内部の掃除を

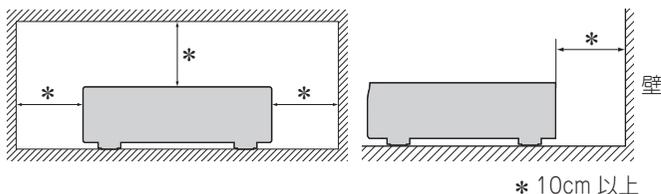
販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

目次

使用上のご注意

設置について

本機内部の放熱を良くするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。

＊10cm以上

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま1～2時間放置してから使用してください。

お手入れについて

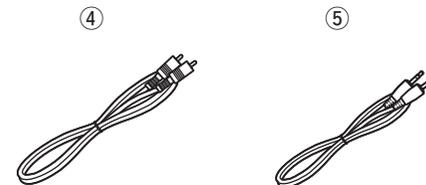
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

付属品を確認する

ご使用の前にご確認ください。

① 取扱説明書（本書）..1
② 保証書（梱包箱に貼り付けています）............................1
③ 製品のご相談と修理･サービス窓口のご案内...............1
④ 同軸デジタルケーブル...1
⑤ システムケーブル..1

リモコンについて

本機にリモコンは付属していません。

本機とステレオレシーバー DRA-F109（別売り）を、本機に付属のシステムケーブルで接続（システム接続）することにより、DRA-F109 付属のリモコンで本機を操作することができます。

- **この取扱説明書には、DRA-F109 に付属のリモコンを使った操作方法も記載しています。**
- **リモコンについては、DRA-F109 の取扱説明書をご覧ください。**

本書について

❏操作説明のボタンについて

本書の操作説明は、リモコンの操作ボタンをメインに説明しています。

❏マークについて

☞ このマークは、関連情報を記載している参照先のページをあらわします。

このマークは、補足説明や操作上のアドバイスをあらわします。

ご注意 このマークは、操作時に留意していただきたい注意点や、機能の制約などをあらわします。

❏イラストについて

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

本機の特長

高精度な 192kHz/24-bit D/A コンバーター搭載

本機は、高精度な 192kHz/24-bit D/A コンバーターを含めデノンのエンジニア達が幾度となく視聴を繰り返し採用した高音質部品をを搭載しています。長年培ったオーディオ回路と組み合わされることで、音の繊細なニュアンスまでもピュアに再現します。

MP3 と WMA ファイルの再生

本機は、CD-R/CD-RW に記録された MP3、WMA（Windows Media® Audio）形式の音楽フィルを再生する事が出来ます。また、USB メモリーに記録されている場合でも、フロントパネルに装備されている USB 端子へ接続することで、再生する事が出来ます。

iPod&USB メモリーのデジタル伝送方式による再生が可能な USB 端子装備

iPod または USB メモリーに保存した音楽ファイルをダイレクトに再生できます。本機は、iPod のデジタル音楽ファイルをデジタル信号のままで入力します。本機の優れた音声回路や高精度の D/A コンバーターを経由することで、原音に迫る再生を実現します。ファイルの選択はリモコン操作でおこない、ディスプレイにはファイル名などを表示します。

＊ 第 5 世代以降の iPod に対応。USB メモリーはマスストレージクラス対応。

オートスタンバイモード

本機を使わないでいると、自動的にスタンバイモードに切り替わるオートスタンバイモードが装備されています。電源の消し忘れを防止します。

スタンバイ時の消費電力を低減

環境への影響に配慮してスタンバイ時の消費電力を 0.3W 以下に抑えています。

16 文字・2 行表示の大型表示管

MP3 ファイルや iPod の再生中、大型表示管に文字情報を表示します。

Preparations

準備編

ここでは、本機の接続方法について説明しています。

接続のしかた

システム接続については「システム接続のしかた」（☞21ページ）もあわせてご覧ください。

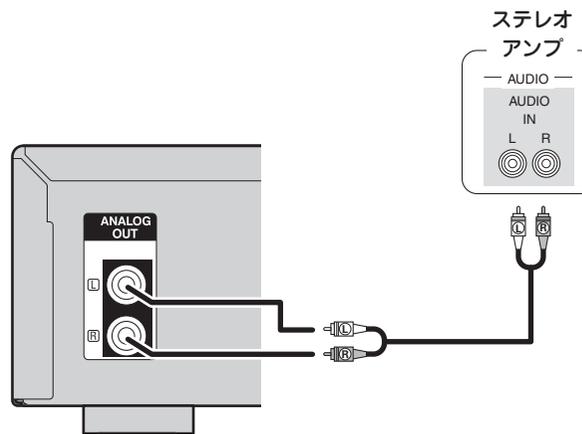
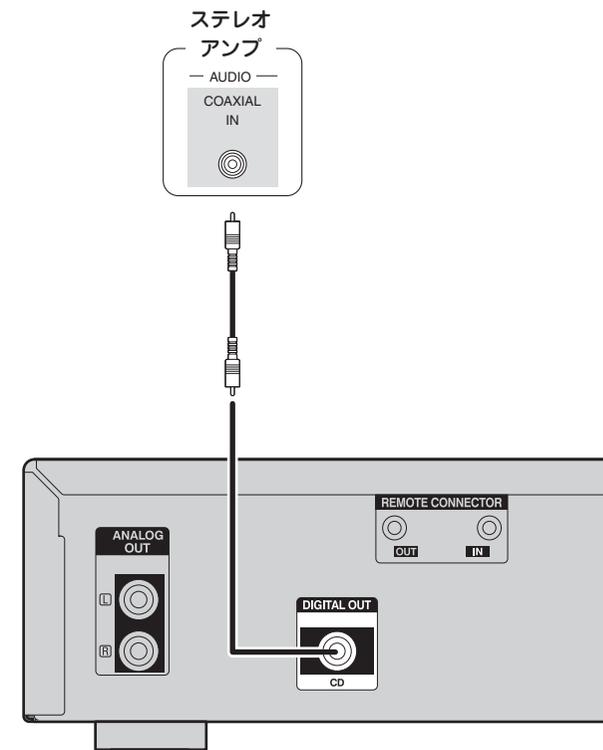
ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因となることがあります。

接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

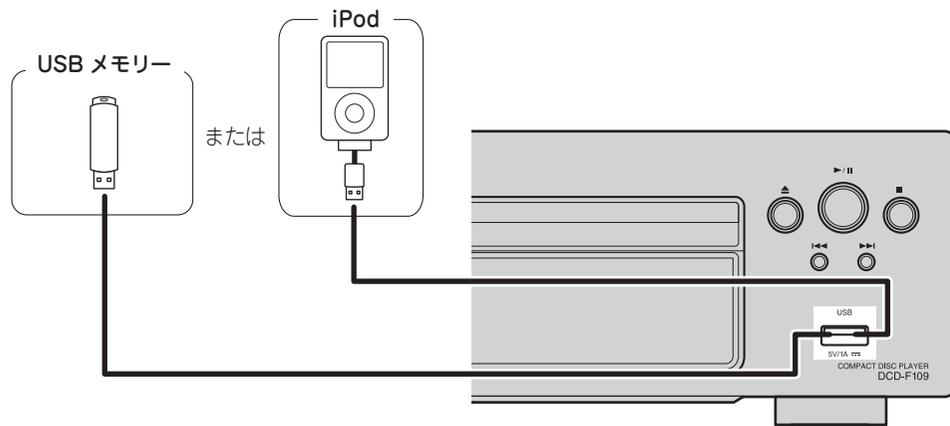
音声ケーブル
システムケーブル（付属）
同軸デジタルケーブル（付属）
オーディオケーブル（別売り）

アナログ接続

デジタル接続

本機とDRA-F109（レシーバー：別売り）を接続するときはデジタル接続およびシステム接続をおこなってください。
システム接続により、DRA-F109付属のリモコンでの本機の操作や各種システム機能が有効になります。
（☞21ページ「システム機能について」）

USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する

- iPod や USB メモリー内の音楽を楽しむことができます。
- 操作のしかたは、「iPod の再生」(☞18 ページ) または「USB メモリーの再生」(☞19 ページ) をご覧ください。

接続に使用するケーブル

本機と iPod を接続するときは、iPod に付属の USB ケーブルをお使いください。

すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものをお使いになる場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。
- 本機に iPhone を接続するときは、iPhone を本機から 20cm 以上離してください。iPhone を本機に近づけると、iPhone が電話を受信したときに、本機の音声出力にノイズが入ることがあります。
- iPod の接続に 2m 以上の USB ケーブル(別売り)を使用すると、音声が正しく再生できない場合があります。その場合は、純正の USB ケーブルまたは 1m 以下のケーブルをお使いください。

対応している iPod/iPhone

- iPod classic

iPod classic
80GB

iPod classic
160GB (2007)

iPod classic
160GB (2009)

- iPod nano

iPod nano
3rd generation (video)
4GB 8GB

iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB

iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB

iPod nano
6th generation
8GB 16GB

- iPod touch

iPod touch
1st generation
8GB 16GB 32GB

iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB

iPod touch
3rd generation
32GB 64GB

iPod touch
4th generation
8GB 32GB 64GB

- iPhone

iPhone
4GB 8GB 16GB

iPhone 3G
8GB 16GB

iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB

iPhone 4
8GB 16GB 32GB

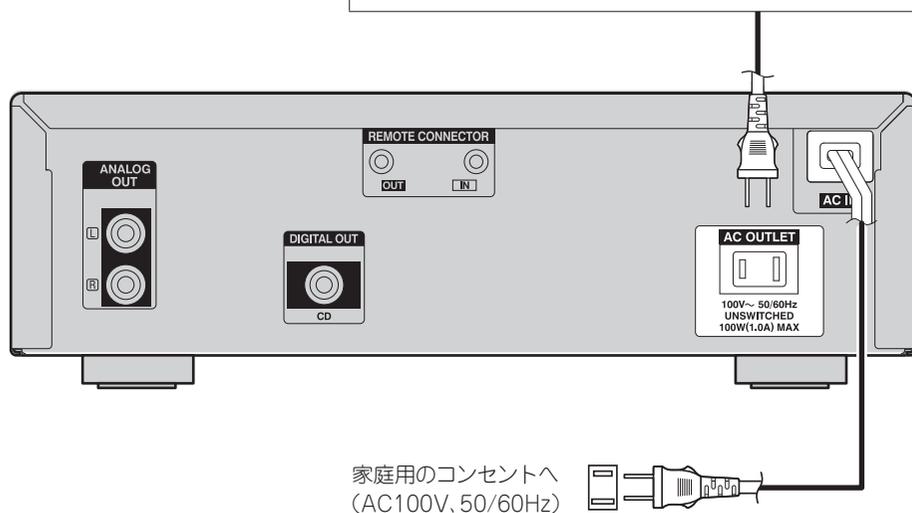
iPhone 4S
16GB 32GB 64GB

(2012 年 6 月現在)

電源コードを接続する

すべての接続が終わってから電源コードを接続してください。

AC アウトレットへの接続
•外部のオーディオ機器に電源を供給するコンセントです。 •本体の電源ボタンとは連動していません。 •消費電力が 100W までのオーディオ機器を接続することができます。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- AC アウトレットは、オーディオ機器用です。ヘアードライヤーなどのオーディオ機器以外には使用しないでください。

操作編

ここでは、本機をより使いこなすことができる機能や操作について説明しています。

基本操作

リモコンについて

本機にリモコンは付属していません。

本機とステレオレシーバー DRA-F109（別売り）を、本機に付属のシステムケーブルで接続（システム接続）することにより、DRA-F109 付属のリモコンで本機を操作することができます。

- **この取扱説明書には、DRA-F109 に付属のリモコンを使った操作方法も記載しています。**
- **リモコンについては、DRA-F109 の取扱説明書をご覧ください。**

準備

ご注意

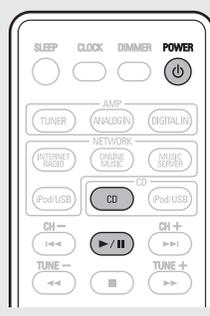
DRA-F109 に付属のリモコンで本機を操作する場合：

- DRA-F109 とシステムケーブルで接続してください（☞21 ページ「システム接続のしかた」）。
- DRA-F109 の入力ソースを"CD/USB" に設定してから操作してください。

電源を入れる

POWER ⏻ を押す。

- 電源が入ります。
  もう一度押すと、電源がスタンバイ状態になります。
- 電源表示について
  電源スタンバイ……………………消灯
  電源オン……………………………緑色
  iPod チャージスタンバイ………赤色

✎

電源がスタンバイ状態の場合、次のボタンを押しても電源が入ります。

- 本体の ⏻、⏏ または ▶/❚❚*
- リモコンの **CD**、**iPod/USB**（CD）または ▶/❚❚*

※再生メディアモードが"DISC" の場合：すでにディスクがセットされている場合は、再生をはじめます。
再生メディアモードが"USB" の場合：USB 端子に接続されているデバイスが再生されます。

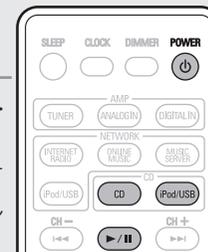
ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 必ず再生を止めてから電源を切ってください。

ディスクを再生する前に

1 **POWER ⏻ を押す。**

2 **CD を押して、再生メディアモードを"DISC"に切り替える。**

ディスクトレイにディスクが入っていないときは、"NO DISC"を表示します。

- 本体の **DISC/USB** を押してもメディアモードを切り替えられます。
- リモコンの **iPod/USB**（CD）を押すとメディアモードは"USB"に切り替わります。

3 **ディスクを入れる（☞24 ページ）。**

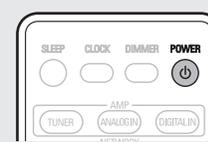
- 本体の ⏏ を押してディスクトレイを開閉します。
- ▶/❚❚ を押しても、ディスクトレイを閉じることができます。

ご注意

ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

電源を切る

POWER ⏻ を押す。

電源表示が消灯し、電源が切れます。

ご注意

- 再生を停止してから、電源を切ってください。
- 電源を切る前に、ディスクトレイが完全に閉まっていることを確認してください。
- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。

CD を再生する

CD を再生する

1 再生の準備をする（☞12 ページ「ディスクを再生する前に」）。

2 **▶/❚❚ を押す。**
ディスプレイの“▶”表示が点灯し、再生をはじめます。

❏再生を停止するには

■ を押す。

❏再生を一時停止するには

▶/❚❚ を押す。
“**❚❚**”表示が点灯します。
- 再生を再開するときは、**▶/❚❚** を押してください。

❏早送り / 早戻し（サーチ）をするには

再生中に ◀◀、▶▶ を長押しする。

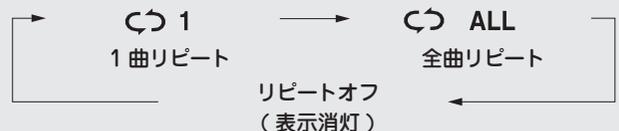
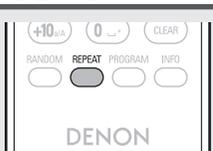
❏頭出し（スキップ）をするには

再生中に ❙◀◀、▶▶❙ を押す。
- 押した回数だけ曲を飛び越します。
- 戻し方向に 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

❏好きな曲を聞くには（リモコンのみ）

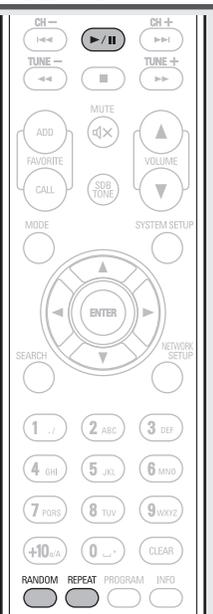
0～**9**、**+10** で番号を選ぶ。
【 例 】4 曲目　：**4**
【 例 】12 曲目　：**+10**、**2**
【 例 】20 曲目　：**+10**、**+10**、**0**

くり返し再生する（リピート再生）

REPEAT を押す。
それぞれのくり返し再生を始めます。

1（1 曲リピート）	1 曲のみをくり返して再生します。
ALL（全曲リピート）	全曲をくり返して再生します。
リピートオフ（表示消灯）	通常の再生に戻ります。

順不同に再生する（ランダム再生）

1 **停止中に RANDOM を押す。**
“RANDOM”を表示します。

2 **▶/❚❚ を押す。**
順不同に再生をはじめます。

ランダム再生中に **REPEAT** を押すと、一通りのランダム再生後、違った曲順でランダム再生をおこないます。

ご注意

再生中にランダム再生の設定および解除はできません。

❏ランダム再生を解除するには

停止中に **RANDOM** を押す。
“RANDOM”が消灯します。

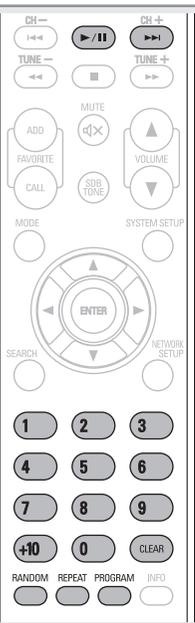
好きな順に再生する（プログラム再生）

最大 25 曲までプログラムできます。

1 **停止中に PROGRAM を押す。**
"PGM"を表示します。

2 **0 ～ 9、+10 を押して、曲番を選ぶ。**

【例】3 曲目、12 曲目、7 曲目の順にプログラムしたい場合：
PROGRAM、**3**、**+10**、**2**、**7** と押す。

3 **▶/❚❚ を押す。**
プログラムした順に再生をはじめます。

❑プログラムした曲順を確認するには

停止中に ▶▶❙ を押す。
押すたびに、プログラムした順に曲番を表示します。

❑プログラムした最後の曲を取り消すには

停止中に **CLEAR** を押す。
押すたびに、プログラムの最後の曲を取り消します。

❑プログラムした 1 曲のみを取り消すには

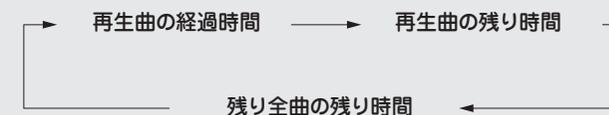
停止中に ▶▶❙ を押して、取り消したい曲を選び、**CLEAR** を押す。

❑プログラムした曲をすべて取り消すには

停止中に **PROGRAM** を押す。

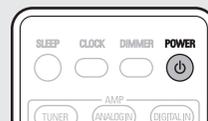
- プログラム再生中に **REPEAT** を押すと、プログラムした曲順に再生を繰り返します。
- プログラム再生中に **RANDOM** を押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。
- ディスクトレイを開けたり、電源を切るとプログラムを解除します。

ディスプレイ表示を切り替える

INFO を押す。

- ボタンを押すたびに、表示が切り替わります。

準備

USB または iPod を再生する前に

1 **POWER ⏻ を押す。**
（☞12 ページ「電源を入れる」）。

2 **USB メモリーまたは iPod ケーブルを接続する。**
（☞9 ページ「USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する」）。
USB メモリーまたは iPod を本機の USB 端子に接続すると、ソースが自動的に“iPod/USB”に切り替わり、ファイルの再生を始めます。

再生メディアモードの設定は、電源をスタンバイにしても記憶します。

MP3 や WMA ファイルの再生順番について

MP3 や WMA ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイルがメディアに記録された日時が古いファイルから順に再生します。

❑フォルダの再生順序

CD-R/CD-RW

CD-R や CD-RW ディスクに記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ・・・、の順番に再生します。

USB メモリー

USB メモリーに記録しているファイルは、第一階層の最初のフォルダにあるファイルを再生したあとに、そのフォルダ内にある第二階層のフォルダ、第三階層のフォルダ･･･、を再生し、次に別の第一階層のフォルダ・・・、の順番に再生します。

- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- CD-R/CD-RW のライティングソフトによっては、再生する順番が変わる場合があります。

ご注意

USB メモリーのフォルダやファイルの削除や追加をおこなうと、記録順とは違う順に再生をする場合があります。これはデータ記録上の仕様によるもので、故障ではありません。

MP3 と WMA ファイルの再生

インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA (Windows Media® Audio) 形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽(ファイル)を CD-R または CD-RW に書き込むことにより、本機で再生することができます。

"Windows Media" および"Windows" は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

MP3 と WMA のフォーマットについて

本機では、次のフォーマットで作成した CD-R または CD-RW ディスクを再生できます。

❑ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1
他のフォーマットで記録している場合は、正しく再生できないことがあります。

❑再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大ファイル数 : 512
最大フォルダ数 : 256

❑ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3
WMA(Windows Media Audio)

❑タグ情報

ID3 タグ(Ver.1.x と 2.x)
META タグ
(タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

再生可能な MP3/WMA ファイル			
ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32、44.1、48 kHz	32～320 kbps	.mp3
WMA	32、44.1、48 kHz	64～192 kbps	.wma

- ファイルには必ず拡張子".MP3" ".WMA"を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

MP3 や WMA ファイルを再生する

1 MP3 や WMA 形式の音楽ファイルを記録している CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる (☞24 ページ)。

2 FOLDER MODE でフォルダモードまたはディスクモードを選ぶ。

フォルダモード ←→ ディスクモード

【表示について】
- フォルダモードのとき
  "FLD"表示点灯
- ディスクモードのとき
  "FLD"表示消灯

フォルダモード	選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生します。
ディスクモード	選択したフォルダおよびファイルの再生後、すべてのフォルダ内のファイルを再生します。

3 △▽ を押して、再生したいフォルダを選ぶ。

4 ⏮、⏭ または ◁ ▷ を押して、再生したいファイルを選ぶ。

5 ▶/⏸ を押す。

❏再生中にフォルダやファイルを変えるには

フォルダ

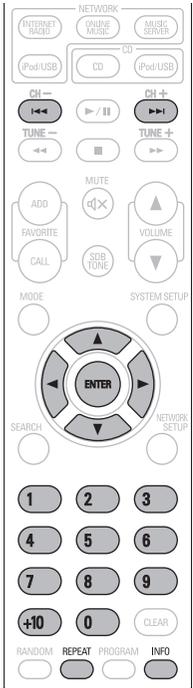
△▽ でフォルダを選び、**ENTER** を押す。

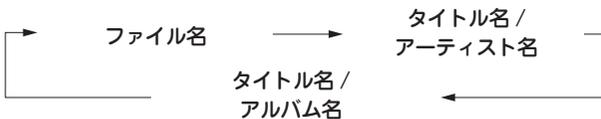
ファイル

◁ ▷ でファイルを選び、**ENTER** を押す。

または **I◀◀**、**▶▶I** でファイルを選ぶか、**0**～**9**、**+10** でファイル番号を選ぶ。

- 本機はディスク読み込み時にフォルダの番号とファイルの番号を自動的に設定します。

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
  （この場合“Not Support” を表示します。）
- 書き込み用のアプリケーションソフトによっては、正しく書き込みができないものがあります。
- ディスクの記録状態によっては、正しく再生できないものがあります。

❏表示を切り替えるには

再生中に **INFO** を押す。

- 表示できる文字は次のとおりです。

A～Z	a～z	0～9

! ” # $ % & : ; < > ? @ \ [ ] _ ` ¦ { } ˉ ^ ’ ( ) * + , - . / = （空白）

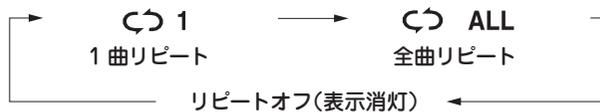
❏リピート再生するには

REPEAT を押す。

それぞれのくり返し再生を始めます。

- “フォルダモード” および“ディスクモード” では選択できるリピートモードが異なります。

“フォルダモード”のとき：

“ディスクモード”のとき：

【 選択できる項目 】

“フォルダモード”のとき：

1 FLD	選んだファイルのみをくり返し再生します。
FLD	選んだフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
FLD	フォルダモード再生に戻ります。

“ディスクモード”のとき：

「くり返し再生する（リピート再生）」（☞13 ページ）

❏ランダム再生するには

「順不同に再生する（ランダム再生）」（☞13 ページ）

MP3/WMA のディスクではプログラム再生はできません。

iPod の再生

iPod の音楽を聴くことができます。さらに、本機およびリモコンで iPod を操作することができます。

Made for iPod iPhone

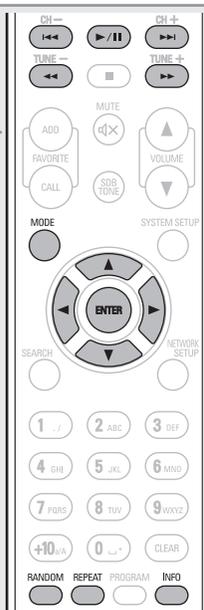
"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle および iPod touch は米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標または登録商標です。

- iPod および iPhone は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

ご注意

- 万一、iPod および iPhone のデータが消失または損傷しても、弊社は一切責任を負いません。
- iPod および iPhone のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。
- 本機に iPhone を接続するときは、iPhone を本機から 20cm 以上離してください。iPhone を本機に近付けていると、iPhone が電話を受信したときに、本機の音声出力にノイズが入ることがあります。

1 再生の準備をする
(☞15 ページ「USB または iPod を再生する前に」)。

2 **MODE** を押して、表示モードを選ぶ。
押すたびに、モードが切り替わります。

【選択できるモード】		ブラウズモード	リモートモード
表示するディスプレイ		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	✓	✓
	映像ファイル		✓
操作できるボタン	本機(DCD-F109)と本機のリモコン	✓	✓
	iPod		✓

3-1 【"ブラウズモード"を選択した場合】
① △▽ でメニューを選び、**ENTER** で再生したい音楽ファイルを選ぶ。
② **▶/II** を押す。
再生をはじめます。

3-2 【"リモートモード"を選択した場合】
音楽を再生する iPod の画面を見ながら、直接 iPod を操作します。

❑リモコンのボタンと iPod のボタンの対応関係

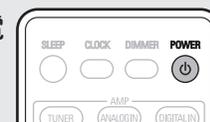
リモコンのボタン	iPod のボタン	本機の動作
▶/II	▶II	再生 / 一時停止
⏮, ⏭	⏮, ⏭	オートサーチ(頭出し)
◀◀, ▶▶ (長押し)	⏮, ⏭ (長押し)	マニュアルサーチ (早戻し、早送り)
△, ▽	クリックホイール	カーソル上下
ENTER または ▷	セレクト	設定の確定 / 再生
MODE	–	ブラウズモードとリモートモードの切り替え
REPEAT	–	リピート再生
RANDOM	–	ランダム再生
◁	**MENU**	メニューの呼び出し / メニューのリターン
■	–	停止

❑本機のディスプレイ表示を切り替えるには(ブラウズモードのみ)

再生中に **INFO** を押す。
ボタンを押すたびに、切り替わります。

タイトル名 / アーティスト名 ←→ タイトル名 / アルバム名

iPod を取り外す

1 **POWER** ⏻ を押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。

2 USB ポートから iPod ケーブルを抜く。

iPod を接続している本機の電源がオンのときに **POWER** ⏻ を押すと、iPod チャージスタンバイモードになり、iPod の充電を続けます。このとき電源表示は赤色に点灯します。充電が完了すると、電源表示は消灯します。

USB メモリーの再生

再生できる USB メモリーのフォーマットについて

本機は USB メモリーに保存している次のフォーマットで作成されたファイルを再生できます。

❑USB 対応ファイルシステム

"FAT16"または"FAT32"

- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

❑再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

1 つのフォルダの中の最大ファイル数：255 個
最大フォルダ数：255 個

❑ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3
WMA(Windows Media Audio)

❑タグ情報

ID3 タグ(Ver.1.x と 2.x)
META タグ
（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生可能な MP3/WMA ファイル			
ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32、44.1、48 kHz	32～320 kbps	.mp3
WMA	32、44.1、48 kHz	64～192 kbps	.wma

本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生することができます。

- インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

USB メモリーを再生する

1 **再生の準備をする**
(☞15 ページ「USB または iPod を再生する前に」)。

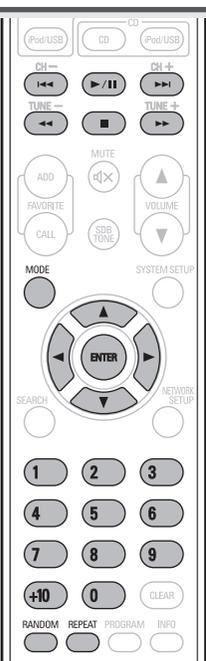
2 **FOLDER MODE を押して、"フォルダモード"または"メモリーモード"を選ぶ。**

- フォルダモードのとき
  "FLD"表示点灯
- メモリーモードのとき
  "FLD"表示消灯

フォルダモード

選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生します。

メモリーモード

選択したフォルダおよびファイルの再生後、すべてのフォルダ内のファイルを再生します。

3 **△▽ を押して、再生したいフォルダを選ぶ。**

4 **⏮、⏭ または ◁ ▷ を押して、再生したいファイルを選ぶ。**

5 **▶/❚❚ を押す。**

USB メモリーに記録しているファイルの再生順については、「MP3 と WMA ファイルの再生」(☞16 ページ) をご覧ください。

❑再生中にフォルダやファイルを変えるには

- **フォルダ**
  △▽ でフォルダを選び、**ENTER** を押す。
- **ファイル**
  ◁ ▷ でファイルを選び、**ENTER** を押す。
  または **⏮**、**⏭** でファイルを選ぶか、**0**～**9**、**+10** でファイル番号を選ぶ。
- 本機は USB メモリー読み込み時にフォルダの番号とファイルの番号を自動的に設定します。

❑再生を停止するには

■ を押す。

❑再生を一時停止するには

▶/❚❚ を押す。
❚❚ 表示が点灯します。

- 再生を再開するときは、もう一度 **▶/❚❚** を押してください。

❑早送り / 早戻し（サーチ）をするには

再生中に **◀◀**、**▶▶** を押し続ける。

❑リピート再生するには

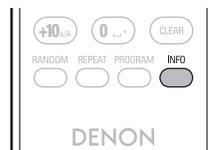
REPEAT を押す。

❑ランダム再生するには

停止中に **RANDOM** を押す。

❏表示を切り替えるには

再生中に **INFO** を押す。

ファイル名 → タイトル名 / アーティスト名 → タイトル名 / アルバム名 →（ファイル名）

• 表示できる文字は次のとおりです。

A～Z	a～z	0～9

! ” # $ % & : ; < > ? @ | [ ] _ ` ¦ { } ˜ ^ ’ ( ) * + , - . / = （空白）

ご注意

• USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
• USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
• すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものをお使いになる場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

便利な機能

オートパワーオン

電源がスタンバイのとき、本機の ⏻ 以外の次のボタンで電源がオンになり、次の動作をおこないます。

⏏（本機）……………………………ディスクトレイが開きます。
▶/❚❚（本機）………………………………… 再生をはじめます。

オートスタンバイ

オートスタンバイをオンにして、30 分間操作しない状態が続くと、本機は自動的にスタンバイモードになります。

• お買い上げ時の設定は“オフ”です。

電源がオンのとき、本体の ■ を 5 秒間長押しする。

“MODE : ON”を表示します。

• 再度、本体の ■ を 5 秒間長押しすると解除します。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の再生メディアモードを記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにしたときの再生メディアモードになります。

本機と DRA-F109（レシーバー：別売り）をシステム接続した場合のシステム機能については、「システム機能」（☞21 ページ）をご覧ください。

システム機能について

ご注意

互換性がないため、本機に過去のモデル(F109 シリーズ以外)を、システム接続しないでください。

システム接続対応機器(別売り)

DRA-F109(ステレオレシーバー)

システム機能は、DRA-F109 が動作の制御をおこないます。システム接続には必ず DRA-F109 を接続してください。

システム機能でできること

本機と DRA-F109(レシーバー:別売り) をシステム接続すると、次の操作ができます。

❏DRA-F109 に付属のリモコンで、本機の操作ができます。

❏オートパワーオン機能

(☞21 ページ「システム機能」)

❏アラーム機能

(☞21 ページ「システム機能」)

❏オートスタンバイ機能

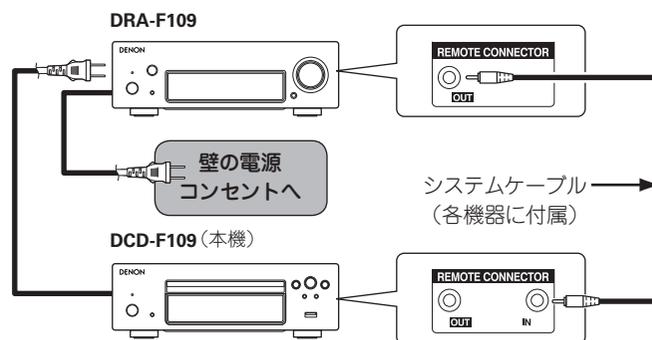
(☞21 ページ「システム機能」)

システム接続のしかた

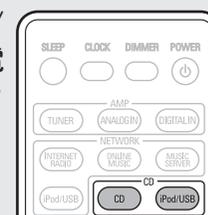
オーディオケーブルの接続のほかに、システムケーブルを接続してください。

また、本機(DCD-F109)の電源コードは DRA-F109(ステレオレシーバー:別売り) の AC アウトレットに接続してください。

ご注意

DRA-F109 の電源コードは必ず、壁の電源コンセントに差し込んでください。

システム機能

オートパワーオン機能

リモコンの **CD** ボタンまたは **iPod/USB**(CD)ボタン押すと各機器の電源が入り、DRA-F109 のファンクションが自動的に切り替わります。

アラーム機能

DRA-F109 のアラーム機能を使用して、設定された時間に再生をおこなうことができます。

- 詳しくは、DRA-F109(ステレオレシーバー:別売り)の取扱説明書をご覧ください。

オートスタンバイ機能

DRA-F109 または DCD-F109 のどちらかのオートスタンバイ機能をオンに設定すると、F109 システム全体にオートスタンバイ機能が働きます。

オートスタンバイ機能については 21 ページをご覧ください。

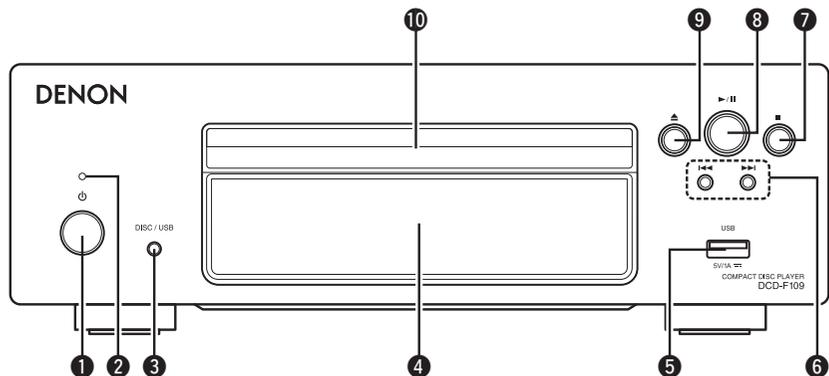
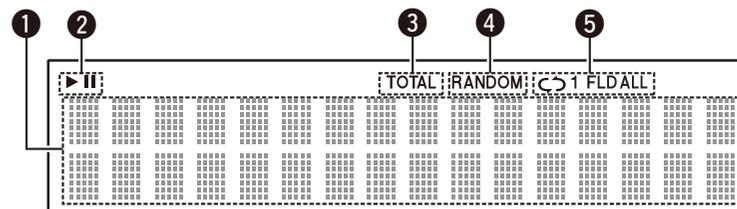
Informations

情報編

ここでは本機に関するさまざまな情報を記載しています。
必要に応じてご覧ください。

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページを参照してください。

フロントパネル

❶電源操作ボタン (⏻)……………………(12)
❷電源表示 ……………………………………(12)
❸メディアモードボタン
(DISC/USB)…………………………………(12)
❹ディスプレイ
❺USB端子 ……………………………………(9)
❻オートマチックサーチボタン
(⏮, ⏭)……………………(13、16、18、19)
❼ストップボタン (■)…………… (13、19、20)
❽プレイ/ポーズボタン
(▶/❚❚) …………………………(13、16、18、19)
❾ディスクトレイ開閉ボタン
(⏏) ……………………………………… (12、20)
❿ディスクトレイ………………………………(24)

ディスプレイ

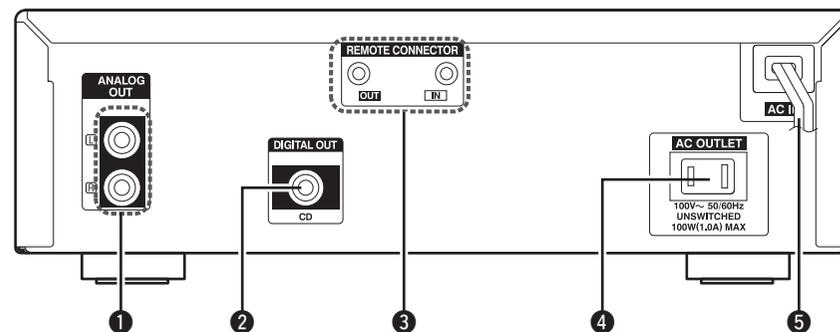
❶インフォメーションディスプレイ
いろいろな情報を表示します。

❷再生モード表示
▶ ：再生中に点灯します。
❚❚ ：一時停止中に点灯します。

❸トータル表示(TOTAL)
CD の総曲数や総時間を表示中に点灯します。

❹ランダム再生表示

❺リピート再生表示

リアパネル

❶アナログ音声出力端子
(ANALOG OUT) ……………………………(8)
❷デジタル音声出力端子
(DIGITAL OUT)……………………………(8)
❸リモート端子
(REMOTE CONNECTOR) ……………(21)
❹ACアウトレット(AC OUTLET) ……(10)
❺電源コード …………………………………(10)

その他の情報

ディスクについて

本機で使用できるディスク

❶ 音楽用CD

本機で使用できる CD は、右のマークが付いているものです。

❷ CD-R/CD-RW

ご注意

- ハート型や八角形など特殊形状の CD は再生できません。故障の原因になりますので、使用しないでください。
- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ファイナライズとは？

録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

ディスクの持ち方

ディスク情報面に触らないようにしてください。

ディスクを入れる際のご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどのノリがはみ出したり、はがした跡にノリが残っているディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

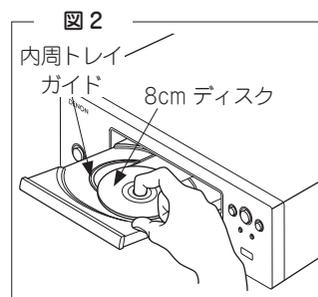
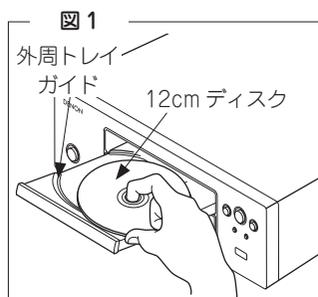
ディスクの入れかた

- レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド（図 1）に合わせ、8 cm ディスクは内周トレイガイド（図 2）に合わせて、水平に置いてください。

図 1

外周トレイガイド

12cm ディスク

図 2

- 8 cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて置いてください。

✎

- 再生できないディスクを入れた場合には、“00 Tr 00 : 00” を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“NO DISC” を表示します。

ご注意

- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

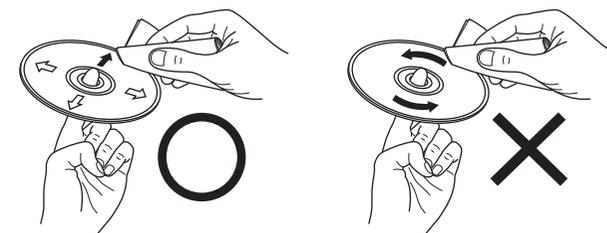
取り扱いについてのご注意

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷を付けないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴が付くことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたはやわらかい布などを使用してください。

内周から外周方向へ軽く拭く。

円周に沿っては拭かない。

ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

用語の解説

M

MP3 (MPEG Audio Layer-3)
音声データ圧縮方式のひとつで、国際的な標準規格です。
映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。
音楽CDレベルの音質を保ったまま、約1/11のデータ容量に圧縮しています。

W

WMA (Windows Media Audio)
米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。
WMAデータは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media®Player for Windows® XP、またはWindows Media® Player 9 Seriesを使用してエンコード(符号化)することができます。
WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。
もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

かな

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ビットレート(Bit rate)
ディスクに記録された映像/音声データを1秒あたりに何ビットのデータを処理したかをあらわします。

ファイナライズ
録音されたCD-R/CD-RWを再生対応機で再生できるように処理することです。

故障かな?と思ったら

❑ 各接続は正しいですか

❑ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症状	原因	対策	関連ページ
電源を入れても電源表示が点灯せず、音が出ない。	• 電源コードの差し込みが不完全である。	• 電源コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	10
電源表示は点灯するが音が出ない。	• アンプのソース(入力)が不適当である。	• 正しいソース(入力)に切り替えてください。	–
	• 音量調節つまみが絞ってある。	• 適当な位置まで回してください。	–
電源が自動的にスタンバイに切り替わる。	• オートスタンバイ機能が作動しています。	• オートスタンバイ機能を"OFF"に設定してください。	20

【リモコン】(DRA-F109に付属)

症状	原因	対策	関連ページ
リモコンを操作しても、正常に動作しない。	• 本機とDRA-F109のシステムケーブルの接続が不完全。	• しっかり接続してください。	21
	• 乾電池が消耗している。	• 新しい乾電池と交換してください。	–
	• 本体から離れすぎているか、角度が良くない。	• リモコンは、DRA-F109から約7メートルおよび30°以内の範囲で操作してください。	–
	• 本機とリモコンの間に障害物がある。	• 障害物を取り除いてください。	–
	• 乾電池の⊕と⊖が正しくセットされていない。	• 正しい極性でセットしてください。	–
	• リモコン受光部に強い光(直射日光、インバータ式蛍光灯の光など)が当たっている。	• 受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	–

【CD】

症状	原因	対策	関連ページ
ディスクトレイが開閉しない。	• 電源が入っていない	• 電源を入れてください。	12
ディスクを入れても“NO DISC”表示になる。	• ディスクが正しく入っていない。	• ディスクを入れ直してください。	24
ディスクを入れても“00Tr 00:00”表示になる。	• 本機で使用できないディスクが入っている。	• オーディオ用のCD、またはMP3/WMAを記録したCD-R/-RWを入れてください。	24
▶/❚❚ ボタンを押しても再生しない。	• ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。 • 再生メディアモードが“USB”になっている。 • DRA-F109の入力ソースが“CD/USB”になっていない。	• ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。 • 再生メディアモードを“DISC”に切り替えてください。 • 入力ソースを“CD/USB”に切り替えてください。	24 12 –
ディスクの指定場所が正しく再生できない。	• ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	• ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	24
プログラム再生ができない。	• プログラム方法が違っている。 • MP3/WMAのディスクではプログラム再生はできません。	• 正しくプログラムしてください。 • オーディオ用のCDを使用してください。	14 –
CD-R/CD-RWが再生できない。	• ファイナライズされていない。 • 記録状態が悪い。またはディスク自体の品質が悪い。	• ファイナライズをしてから、再生してください。 • 正しく記録されたディスクをご使用ください。	24 –
MP3やWMA形式で記録されたファイルが再生できない。	•「著作権保護されたWMAファイル」または「正しく再生できないファイル」を選んでいる。	• ⏮ または ⏭ ボタンで別のファイルを選んでください。	16、17

【iPod】

症状	原因	対策	関連ページ
iPodが再生できない。	• 再生メディアモードが“DISC”になっている。 • ケーブルが正しく接続されていない。	• 再生メディアモードを“USB”に切り替えてください。。 • 接続をやり直してください。	12 9

【USB】

症状	原因	対策	関連ページ
USBメモリー接続時、ディスプレイにフォルダー名などを表示せずに“00Tr 00:00”を表示する。	• 接続不良などで、本機がUSBメモリーを認識できない。 • マスストレージクラスまたはMTP以外のUSBメモリーを接続している。 • 本機が認識できないデバイスを接続している。 • USBハブ経由で接続している。	• 接続を確認してください。 • 本機は、マスストレージクラスまたはMTP対応のUSBデバイスに対応しています。それ以外のUSBメモリーは認識できません。 • 故障ではありません。すべてのUSBメモリーに対して、動作や電源の供給を保証するものではありません。 • USBハブを経由した接続はできません。また、ハブ機能を内蔵したUSBデバイスも再生できません。	9 – – –
USBデバイス内のファイルが再生できない。	• USBデバイスのフォーマットが、FAT16またはFAT32以外のフォーマットになっている。 • 複数のパーティションに分かれている。 • ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されている。 • 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。	• フォーマットをFAT16またはFAT32に設定してください。詳しくは、USBデバイスの取扱説明書をご覧ください。 • 複数のパーティションに別れている場合は、第1パーティション以外は再生できません。 • 対応しているフォーマットで記録してください。 • 本機では著作権保護のかかったファイルを再生することができません。	19 19 19 19

保証と修理について

❏保証書について

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

❏修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

❏依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名 ……… 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号 … 保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

❏補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

❏お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❏ オーディオ特性

- アナログ出力

チャンネル：	2 チャンネル
再生周波数範囲：	2Hz～20kHz
S/N 比：	110dB
ダイナミックレンジ：	100dB
高調波歪率：	0.003% (1kHz)
出力レベル：	2.0V (10k Ω)
信号方式：	16 ビット・リニア PCM
サンプリング周波数：	44.1kHz
使用ディスク：	コンパクトディスク

- デジタル出力

COAXIAL:	0.5Vp-p　75 Ω

❏ 総合

電源：	AC100 V　50/60 Hz
消費電力：	25W(電気用品安全法による) 0.3W(スタンバイ時)

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

索引

寸法

単位：mm
5.0
250.0
257.0
2.0
27.0
178.5
44.5
250.0
DENON
73.0
82.0
30.0
9.0
30.0
190.0
30.0
質量：2.8 kg

DENON

デノンお客様相談センター

☎ 044-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30 ～ 12：00、12：45 ～ 17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

〒 210-8569　神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。

http://denon.jp/jp/support/pages/servicecenter.aspx

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

V00

Printed in China　5411 10868 00AD